



◆全国町村議会  
議長会長表彰

西村正尚議員、今井安博議員、重森一宗議員が、2月7日に開催された全国町村議長会第69回定期総会において、自治功労者表彰を受賞されました。心よりお喜び申し上げます。今後ともますますご活躍をされますことを期待しております。



記念盾

◆木材提供で五輪の記念盾

2020年東京オリンピック・パラリンピックの大会組織委員会から、選手村の交流施設「ビレッジプラザ」（東京都中央区）の床材の一部を無償提供することから記念の盾をいただきました。大会後、施設は解体され、それぞれの部位が大会遺産として活用できるよう返却されます。

## 委員会の動き

### 先進地小中一貫校に関する調査

平成30年2月8日  
教育民生常任委員長 三谷 幸一郎

高知市立義務教育学校「土佐山学舎」は高知市の市街地から北へ13km程の鏡川の清流と深い緑に囲まれた山間部の旧土佐山村地域にある。旧土佐山村は、平成17年に116年の歴史に幕を閉じ鏡村とともに高知市に合併した。平成22年に地域から小中一貫校整備の要望が出され、平成23年に高知市が「土佐山百年構想」を策定し「社会学一体、小中一貫プロジェクト」が位置づけられた。その後、平成27年4月にこれまでの土佐山小中学校を統合して誕生したのが小中一貫教育「土佐山学舎」である。

平成28年4月に学校教育法の一部改正により、小中一貫教育を更に推進するため、「土佐山学舎」は義務教育学校へと校種を変更し「高知市立義務教育学校土佐山学舎」と校名を改め教育課程の編成において学校独自の判断で自由に行えるようになった。その成果目標は、9年間一貫した英語教育の推進により英語検定2級への挑戦、スクールバス運行により校区外児童数の増加、土佐山学舎を通じての地域活性化等々である。この調査で、過疎化が進む中山間地域での教育の理想形であると感じた。本町も「保小中一環教育」を目指しているが、山間地域の教育として「土佐山学舎」を手本にし、素晴らしい教育環境施設を目指すため、保護者や地域の意見を十分に受け入れ、協議を重ね大豊ならではの一貫教育を望む。

高知市立義務教育学校「土佐山学舎」



## 議会からのお知らせ

### ◆高知県町村長・町村議会議長大会開催

2月22日高知市で、高知県町村長・町村議会議長大会が開催されました。県下23町村の町村長と議長は、それぞれの各地域が誇りを持ち、今日より明日がよりよい未来であることが実感できる社会の実現を目指すことを宣言しました。

本町からは、佐藤徳治議長が、提出議題として「農林水産業・地域の活力創造について」の提案を行い、満場の賛同が得られました。



提案理由説明をする佐藤徳治議長

## 編集後記

3月議会は、6名が一般質問に立ち、今後の本町の在り方について活発な議論が交わされました。

本年度は、役場本庁舎の一時移転（津家、旧大豊園）、超高速ブロードバンド環境の整備など、私たちの暮らしにも、それなりの環境変化ができてきます。光ファイバー網の整備をすることによって、地域での安全安心な暮らしの確保、企業活動、地域産業の活性化などが図られ、地域活性化には、情報通信網が欠かせない重要なものだと感じています。

町民のための議会ということをさらに胸に刻み、充実した議会活動に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

編集委員 佐藤徳治

△ご意見やご感想は△

大豊町議会事務局  
電話72・0450（代表）